

豊川市子ども・子育てに関するアンケート調査
速報値からみえる回答者の傾向

(アンケート内容)

■目的

豊川市子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたり、教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握し、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するために実施。

■対象

市内に住む「就学前児童がいる家庭」及び「小学生児童がいる家庭」を対象。

■調査期間

平成25年10月中旬～11月5日

■調査方法

郵送による。

■対象者数

就学前児童がいる家庭 2,000世帯

小学生児童がいる家庭 2,000世帯

※対象世帯は無作為に抽出し、合計4,000世帯へアンケートを依頼。

(アンケートの回収状況)

アンケート種類	送付数	回収数	回収率
就学前児童用	2,000	1,066	53.3%
小学生児童用	2,000	1,082	54.1%
計	4,000	2,148	53.7%

(回答者の属性)

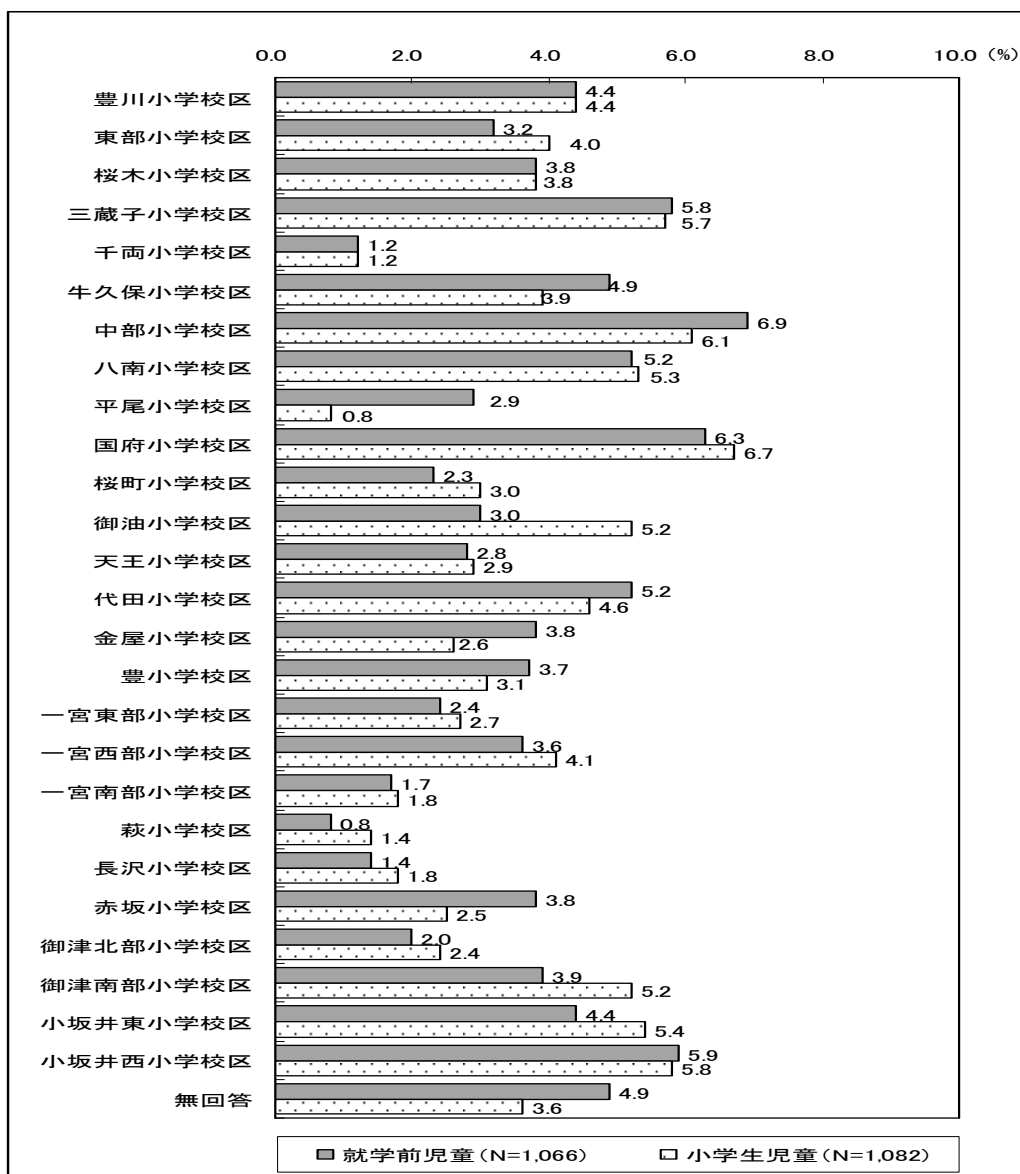
○住まいの小学校区

【就学前児童】

- ◆ 居住地区については、「中部小学校区」が6.9%と最も多く、次いで「国府小学校区」(6.3%)、「小坂井西小学校区」(5.9%)、「三蔵子小学校区」(5.8%)、「八南小学校区」「代田小学校区」(5.2%)の順となっています。

【小学校児童】

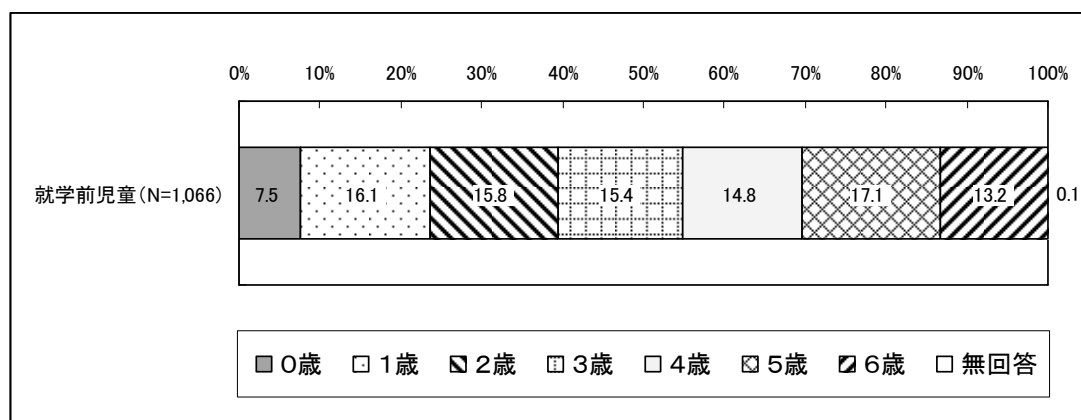
- ◆ 居住地区については、「国府小学校区」が6.7%と最も多く、次いで「中部小学校区」(6.1%)、「小坂井西小学校区」(5.8%)、「三蔵子小学校区」(5.7%)、「小坂井東小学校区」(5.4%)の順となっています。



○子どもの年齢と学年

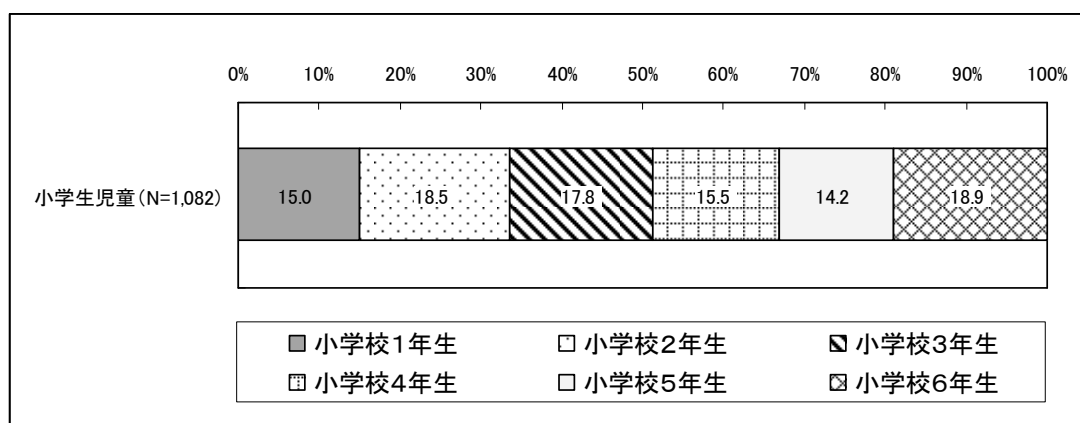
【就学前児童】

- ◆ 回答のあった児童の年齢の内訳は、「0歳」が7.5%、「1歳」が16.1%、「2歳」が15.8%、「3歳」が15.4%、「4歳」が14.8%、「5歳」が17.1%、「6歳」が13.2%となっています。



【小学校児童】

- ◆ 回答のあった児童の年齢の内訳は、「小学1年生」が15.0%、「小学2年生」が18.5%、「小学3年生」が17.8%、「小学4年生」が15.5%、「小学5年生」が14.2%、「小学6年生」が18.9%となっています。



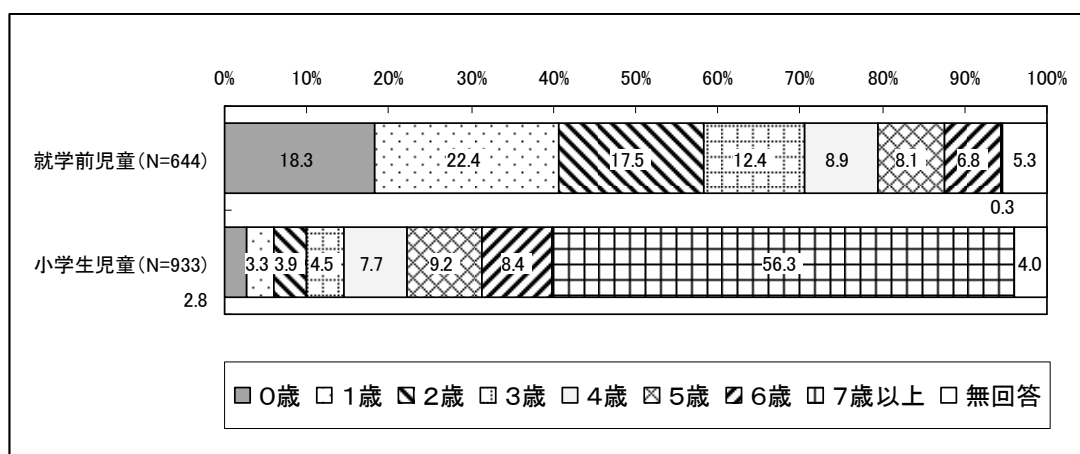
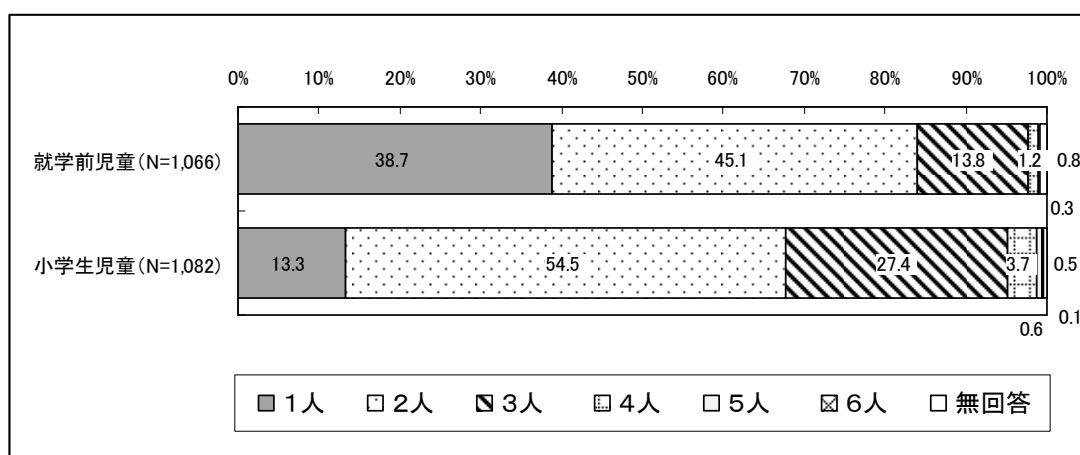
○子どものきょうだいの数と末子の年齢

【就学前児童】

- ◆ 子どものきょうだいの人数は、「2人」が45.1%と最も多く、次いで「1人」が38.7%、「3人」が13.8%と続いており、子どもの平均人数は、1.78人となっています。
- ◆ 末子の年齢は、「1歳」が22.4%と最も多く、次いで「0歳」が18.3%、「2歳」が17.5%となっており、末子の平均年齢は2.27歳となっています。

【小学校児童】

- ◆ 子どものきょうだいの人数は、「2人」が54.5%と最も多く、次いで「3人」が27.4%、「1人」が13.3%と続いており、子どもの平均人数は、2.24人となっています。
- ◆ 末子の年齢は、「7歳以上」が56.3%と最も多く、次いで「5歳」が9.2%、「6歳」が8.4%、「4歳」が7.7%となっており、末子の平均年齢は6.96歳となっています。



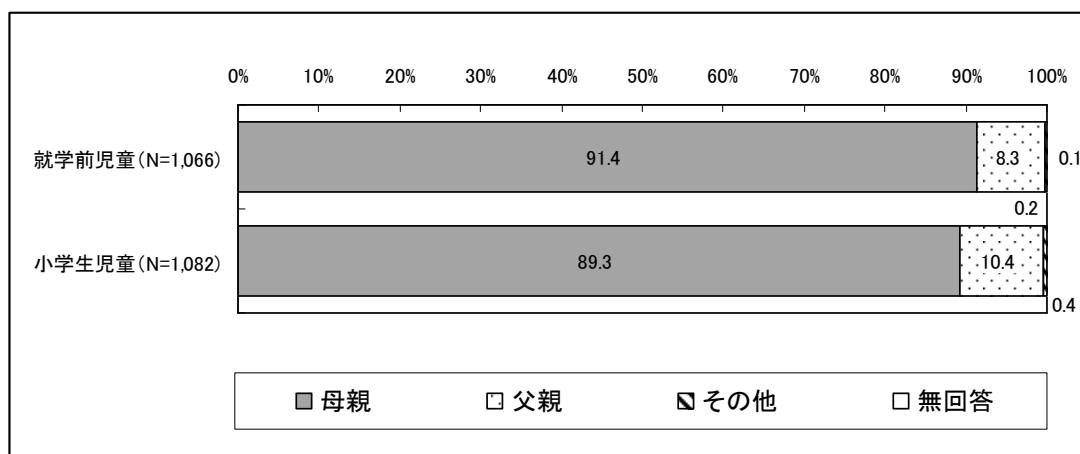
○調査票の回答者

【就学前児童】

- ◆ 調査の回答者については、「母親」が91.4%と多くなっています。

【小学校児童】

- ◆ 調査の回答者については、「母親」が89.3%と多くなっています。



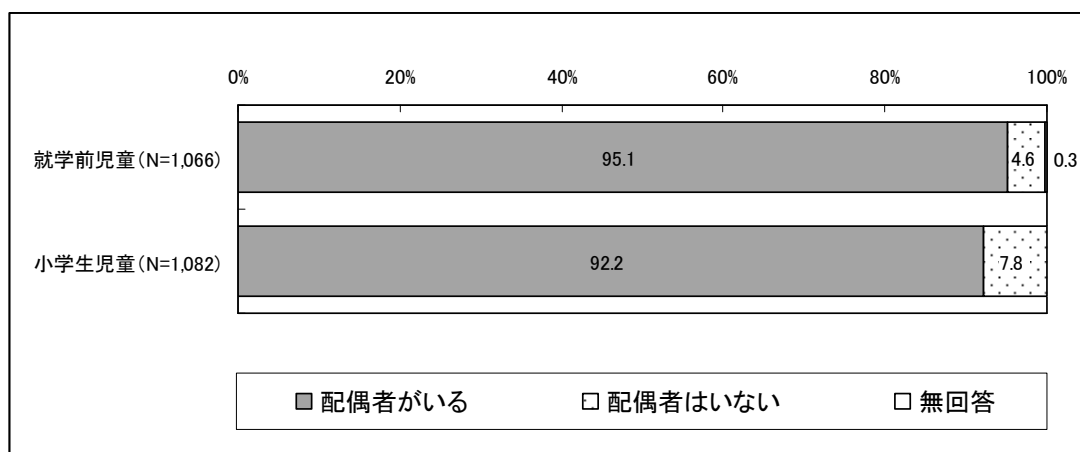
○配偶者の有無

【就学前児童】

- ◆ 配偶者の有無については、「配偶者がいる」が95.1%、「配偶者はいない」が4.6%となっています。

【小学校児童】

- ◆ 配偶者の有無については、「配偶者がいる」が92.2%、「配偶者はいない」が7.8%となっています。



○家庭で子育てや教育を主に行っている人

【就学前児童】

- ◆ 子育てを主に行っているのは、「父母ともに」が49.2%と最も多く、次いで「主に母親」が48.2%となっています。

【小学校児童】

- ◆ 子育てを主に行っているのは、「父母ともに」が54.4%と最も多く、次いで「主に母親」が42.7%となっています。

